

平成23年行政事業レビューシート							(文部科学省)		
事業名	グローバルCOEプログラム			担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度・平成25年度			担当課室	大学振興課大学改革推進室		大学振興課長 藤原章夫		
会計区分	一般会計			施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	科学技術基本計画(平成18年3月28日閣議決定) 教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) 大学院教育振興施策要綱(平成18年3月30日文部科学省決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際的に卓越した大学院博士課程(後期)の教育研究拠点を形成し、アカデミアを中心に、国際的に第一級の力量を持つ研究者等を養成。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○専攻を核に魅力ある教育研究環境を整備するとともに、世界トップクラスの海外大学・研究機関等との共同プロジェクトなどの優れた教育研究活動の展開を通して、国際的に第一級の力量を持つ研究者等を養成し、もって、国際的に卓越した教育研究拠点を形成する取組を支援。 ○公募制により、国公立大学を通じて競争的に選定し、重点的な財政支援を行う(定額補助:100／100)。補助対象は、大学院の研究科・専攻(博士課程(後期)段階)。支援期間は原則5年間。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
			当初予算	33,990	34,229	26,476	23,677	13,092	
			補正予算	—	—	—	—		
			繰越し等	—	—	△ 444	444		
	計		33,990	34,229	26,032	24,121	13,092		
	執行額		34,971 ※1	34,228	26,039 ※1				
	執行率(%)		102.9%	100.0%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	採択1年後	採択2年後	採択3年後	目標値 (採択5年後)
	拠点に所属の博士課程修了者のうち、大学・公的研究機関の研究職就職者数(カッコ内は、ポストを除いた人数) (19年度採択63拠点、20年度採択68拠点が中間評価時に提出したデータに基づき、「採択前」(19年度採択拠点の18年度値と20年度採択拠点の19年度値の計)、「採択1年後」(19年度採択拠点の19年度値と20年度採択拠点の20年度値の計)、「採択2年後」(19年度採択拠点の20年度値と20年度採択拠点の21年度値の計)を記載。※印の調査項目同じ)								
	成果実績	人	978 (456)	1,014 (488)	調査中	1,500 ※140拠点			
	達成度	%	69.7	72.2	調査中				
	拠点に所属の博士課程修了者の就職率(※)			成果実績	%	84.5	84.9	調査中	100.0
				達成度	%	84.5	84.9	調査中	
	拠点に所属する博士課程(後期)学生のレフェリー付論文の発表数(カッコ内は、Web of Scienceへの収録が判明している論文数)(※)			成果実績	本	5,377 (3,596)	5,903 (3,964)	調査中	9,000 ※140拠点
				達成度	%	63.8	70.1	調査中	
	担当教員のレフェリー付論文の発表数(カッコ内は、Web of Scienceへの収録が判明している論文数)(※)			成果実績	本	16,064 (10,927)	16,426 (11,399)	調査中	20,000 ※140拠点
				達成度	%	85.8	87.8	調査中	
	拠点への博士課程(後期)入学者数(※)			成果実績	人	2,154	2,383	調査中	3,000 ※140拠点
			達成度	%	76.7	84.9	調査中		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	採択1年後	採択2年後	採択3年後	23年度活動見込
	拠点が実施する共同研究数(※)								
	活動実績 (当初見込み)	件	18,389	20,676	調査中 (前年度以上)	(前年度以上)			
	上記のうち、海外との共同研究数(※)	活動実績 (当初見込み)	件	3,732	4,241	調査中 (前年度以上)	(前年度以上)		
	担当教員の国際学会での基調・招待講演回数(※)	活動実績 (当初見込み)	回	4,526	4,846	調査中 (前年度以上)	(前年度以上)		
	拠点に所属する博士課程(後期)学生の海外学会発表数(※)	活動実績 (当初見込み)	回	4,118	5,073	調査中 (前年度以上)	(前年度以上)		
	拠点に所属する博士課程(後期)学生のうち、RA(リサーチ・アシスタント)受給者数(※)	活動実績 (当初見込み)	人	3,220	3,309	調査中 (前年度以上)	(前年度以上)		
単位当たりコスト	167,576千円(千円／拠点)			算出根拠	単位当たりコスト ＝平成22年度執行額(25,974,245千円)／採択拠点数(155拠点)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	研究拠点形成費	23,637百万円	13,000百万円	※継続事業の一部終了による減					
	審査等経費	39百万円	88百万円						
	拠点形成費等補助金事務費	1百万円	3百万円						
	計	23,677百万円	13,092百万円	※四捨五入の関係で計数が一致しない場合がある					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
使途 資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、共同研究の増加(2年後に2,287件の増)等とともに、学生及び教員のレフェリー付論文の発表数も着実に向上する等の効果が見られ、アカデミアを中心に国際的に活躍する研究者の養成を実現している。 ・しかしながら、限られた予算内でより効果的に拠点への補助を行うことが課題であり、第三者委員会による中間評価を実施し、その評価結果を踏まえたメリハリある補助を行うこととしている。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・平成23年度においては、事業仕分け第3弾の評価結果を踏まえ、平成23年度概算要求額から1割以上の予算を縮減している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：この事業は、国際的に第一級の実績を持つ研究者等を養成するため、国際的に卓越した教育研究拠点たる大学院(博士課程)専攻の教育力・研究力を強化することを目的とした国公立大学に対する補助事業であり、予算措置手法・実施体制の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業は、昨年及び一昨年の事業仕分けの評価を踏まえ、予算の縮減が図られたと認められる。引き続き、事業内容を精査し、適切な執行体制により、今後もメリハリのある補助事業の実施などに努めるべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
本事業については、引き続き、第三者委員会による中間評価を実施、及びその評価結果を補助金の配分に反映し、メリハリのある補助事業を行っている。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
※1 重点的な支援の観点から、年度内に同一補助金内で流用増して執行。 ○事業仕分け第1弾 〈事業番号/事業名〉 3-52 大学の先端的取り組み (1)グローバルCOEプログラム 〈結果〉 グローバルCOEプログラム、組織的な大学院教育改革推進プログラム 予算要求の縮減(1/3程度縮減) 〈とりまとめコメント〉 グローバルCOEプログラム及び組織的な大学院教育改革推進プログラムについては、予算要求通り2名、廃止3名、来年度の予算計上見送り1名、予算要求の縮減8名であり、その内訳は、半額3名、1/3 程度を縮減3名、その他2名(2割縮減1名、9割縮減(グローバルCOEプログラムの廃止)1名であり、散らばりがあるが、WGとしては、1/3程度の予算要求の縮減と結論する。グローバルCOEプログラムは廃止すべきとの指摘や、対象が広すぎるとの指摘が複数あり、より絞り込んだ形で企画をしていただきたい。 ○事業仕分け第3弾 〈事業番号/事業名〉 A-25(1) グローバルCOEプログラム 〈結果〉 事業仕分け第1弾の評価結果(予算要求の縮減(予算要求の1/3程度を縮減))が反映されていない/事業仕分け第1弾の評価結果の確実な実施 〈とりまとめコメント〉 グローバルCOEプログラムについては、残念ながら仕分けの結果は反映されていないという判断。そしてどうするのかということだが、その他と書かれた方の意見を見ても、そもそもこのグローバルCOEプログラム自体が良くなかったということについてはほぼ評価者の意見は共有している。その中で、現に継続事業でこのシステムが動いているところをどれくらい削げるのか。本来であればもっとメリハリをつけて絞り込みをして効果が上がるという形にさせていただくというのが反映すべき結果だが、そうっていない中で、平成22年度の予算要求に対して1/3程度とするという仕分け結果の着実な実施という方が4名、半額程度縮減という方が1名、1割程度縮減という方も1名いらっしゃる中で、縮減額の比率を出すのは非常に難しいが、少なくとも重点化、拠点化、メリハリを付ける中で、本来の趣旨である国際的に卓越した拠点を形成するという趣旨に照らし、継続事業であっても拠点化、重点化を行い、23年度要求から少なくとも1割以上の縮減はしていただき、事業仕分け第1弾の評価結果の確実な実施をしてもらいたい。 ○事業URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/index.htm			

文部科学省
26, 039百万円

庁費 0. 2百万円
旅費 0. 1百万円 } を含む。

世界をリードする創造的な研究者・技術者を養成するため、国際的に卓越した教育研究拠点たる大学院(博士課程)専攻の教育力・研究力を強化する取組みを支援。

【公募・補助】

A. 大学(46大学155件)
25, 975百万円

大学において、世界をリードする創造的な研究者・技術者を養成するため、国際的に卓越した教育研究拠点たる大学院(博士課程)専攻の教育力・研究力を強化する事業を実施。

【補助】

B. (独)日本学術振興会
64百万円

(審査・評価等業務を実施)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.東京大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	特任助教授12名、特任研究員16名、学術支援職員9名、RA経費のべ136名	236			
	消耗品費	試薬類、実験器具、実験動物関連	115			
	旅費	学会参加・発表・情報収集、外国旅費、招へい旅費	23			
	雑役務費	実験機器等修理・保守、実験動物飼育管理費	18			
	謝金	講演謝金、講義謝金	5			
	その他	会議室借料、報告書印刷、運搬費	5			
	計		402	計		0
	B.(独)日本学術振興会			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	業務担当職員3名(社会保険料)	18			
	委員手当	委員会、分野別審査・評価部会等	10			
	印刷製本費	まとめ冊子、評価資料関係等	10			
	旅費	委員会出席旅費	9			
	その他	会議費、借料、委託費	6			
	雑役務費	コピー機の保守、電気工事代等	5			
	賃金	派遣職員	4			
	通信運搬費	郵便料、資料運搬費	2			
	計		64	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	生体シグナルを基盤とする統合生命学	402	-	-
2	愛媛大学	化学物質の環境科学教育研究拠点	376	-	-
3	大阪大学	高次生命機能システムのダイナミクス	372	-	-
4	京都大学	物質科学の新基盤構築と次世代育成国際拠点	371	-	-
5	東京大学	理工連携による化学イノベーション	361	-	-
6	東京大学	セキュアライフ・エレクトロニクス	343	-	-
7	北海道大学	知の創出を支える次世代IT基盤拠点	341	-	-
8	長崎大学	放射線健康リスク制御国際戦略拠点	285	-	-
9	東京医科歯科大学	歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点	284	-	-
10	名古屋大学	マイクロ・ナノメカトロニクス教育研究拠点	284	-	-

B.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人日本学術振興会	審査・評価業務を実施	64	-	-